

---

# 道化師 ピエロ

榎吾春樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

道化師 ピエロ

### 【コード】

N4709Z

### 【作者名】

樫吾春樹

### 【あらすじ】

自分の感情です。あまり気にしないでください。

みんなの前で、ニコニコ、ヘラヘラ…

ずっとそんなことをしてきた。

みんなに合わせたいから、ひとりぼっちになりたくないから…

でも最近では、寝ても疲れが抜けなくて余計に疲れてる気がする…

精神的にも参ってきているのに、みんなに心配をかけたくないから…

いつか父親が「いつも笑顔でいる。笑顔で入ればお前のことを好んでいる人には、同じように笑顔が。お前のことを嫌っている人には、悲しみの表情が見れなくて悔しがるだろう。」そんなことを言っていた。

私はなるべく、父親の言っていたことをしていた。

そしたらいつからか、人に合わせているように見えるようになってしまった。

自分の中では、全くそんな気がないとさえ嘘になる。

でも、どこかでもう面倒になっていた。

自分を表に出すことを。

人に合わせて相づちを打つことのほうが、ずっと楽だった。

心は常に、土砂降りの雨なのに…

そんなことを忘れて、素を見失って、狂った。

何もかもどうでもよくなって、何度も自分で命を絶とうとした。

でも何故かその度に、いつも一緒にバカやっていた親友や迷惑ばかりかけていた頭のいい友達。

そして、部長。

そんなみんなの笑顔がよみがえる。

その度に、自分は泣いてどんどん弱くなった。

強くならなければいけないのに…

成長しなければいけないのに…

こんな自分を殺してしまいたくなる時もある。

だけどそれが出来ないから、今日も私は自分を偽り、人の目を騙す。

何故なら私は道化師<sup>ヒエロ</sup>だから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4709z/>

---

道化師 ピエロ

2011年12月15日23時50分発行